

未来を見据えた水管理

長時間アンサンブル降雨予測 を活用したダム高度運用 シンポジウム

開催日時

12/23 2024年
(月)
14:00-17:30

オンライン同時開催

定員：500名 (zoomウェビナー)



長野県 奥裾花ダム・奥裾発電所

気候変動による水害リスクが高まり、またカーボンニュートラルの実現が求められる中、治水能力と発電能力の双方の増強を目指し、新たな技術を用いたダム操作の高度化が求められています。

国土交通省では、BRIDGE（研究開発とSociety5.0との橋渡しプログラム）の取組において、長時間アンサンブル降雨予測を活用したダム高度運用の社会実装に向けた技術研究を行っています。

本シンポジウムは、その社会実装に向け、ダム管理者等への本取組の普及を目的として実施するものです。

都道府県等のダム管理者、建設コンサルタント等、広く関係者のご参加をお待ちします。

主催：ダム運用高度化による流域治水向上と再生可能エネルギー増強の加速化プロジェクト

会場 定員：50名

AP虎ノ門 Bルーム

東京都港区西新橋1丁目6-15NS虎ノ門ビル11F

参加申込 11月20日（水）12時から受付開始



こちら（二次元コード）からお申込みください。会場、オンラインとも先着順で定員になり次第募集を締め切ります（無料）。

https://www.jice.or.jp/ensemble/symposium_2024

本シンポジウムは、土木学会のCPDプログラム認定を受けています。

認定番号：JSCE24-1488 単位：2.7単位

プログラム

①基調講演

流域総合水管理に資するダム再生

ダムを、「賢く」、「増やして」、「永く」使うために

京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター

ダム再生・流砂環境再生技術 研究領域 特定教授 角 哲也

②研究報告

「BRIDGE検討内容の概要」

（一財）国土技術研究センター河川政策グループ首席研究員 遠藤 武志

「ダム高度運用に向けた長時間アンサンブル予測の解説」

（一財）日本気象協会社会・防災事業部担当部長 道広 有理

「発電専用ダムの運用高度化に関する取組」

電源開発株式会社土木建築部ダム再生推進室長 松原 隆之

③パネルディスカッション

未来を見据えた水管理

長時間アンサンブル降雨予測を活用したダム高度運用

コーディネーター 京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター

ダム再生・流砂環境再生技術 研究領域 特定教授 角 哲也

パネリスト 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長

長野県建設部長

独立行政法人水資源機構総合技術センター次長

公益財団法人河川財団水管理研究所長

小島 優

新田 恭士

淵上 吾郎

関 克己

※本シンポジウムに関するお問い合わせは、一般財団法人国土技術研究センターまで
E-MAIL：symposium_hybriddam@jice.or.jp

ダム運用高度化による流域治水能力向上と再生可能エネルギー増強の加速化プロジェクト

BRIDGE